

事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 くれ産業振興センター

広島県呉市阿賀南 2 丁目 1 0 番 1 号

令和6年度 事業報告書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I 理事会・評議員会に関する事項

1 役員等

(1) 令和7年3月31日現在の役員等

ア 理事(11名)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
理 事 長	大 水 敏 弘	理 事	寺 重 隆 視
副 理 事 長	畦 淳 造	//	奥 村 和 広
常 務 理 事	藤 井 法 夫	//	松 尾 俊 彦
理 事	磯 村 定 夫	//	柳 下 加 寿 子
//	旗 手 稔	//	柳 曾 隆 行
//	篠 部 裕		

イ 監 事(2名)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
監 事	沖 本 恭 治	監 事	小 松 史 洋

ウ 評 議 員(6名)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	新 原 芳 明	評 議 員	大 賀 敏 昭
副 会 長	若 本 祐 昭	//	山 本 照 久
評 議 員	山 本 晃	//	近 村 淳

2 理事会

開催日等	審議事項等	審議結果
第1回 (決議の省略の方法による) 決議があったとみなされた日 令和6年4月17日	第1号議案 評議員会の招集(案)について	承認
第2回 令和6年5月22日	第1号議案 令和5年度 事業報告(案)について	承認
	第2号議案 令和5年度 決算報告(案)について	承認
	第3号議案 評議員会の招集について	承認
	報告1 決議の省略の方法による第64回理事会の 審議結果について	
第3回 (決議の省略の方法による) 決議があったとみなされた日 令和6年7月5日	第1号議案 評議員会の招集(案)について	承認
	第2号議案 理事長(代表理事)の選定について	承認
第4回 令和6年10月21日	報告1 令和6年度上半期報告 理事長及び常務理事の職務の執行状況について	
	報告2 決議の省略の方法による第66回理事会の 審議結果について	
第5回 令和7年2月20日	第1号議案 令和7年度 事業計画書(案)について	承認
	第2号議案 令和7年度 収支予算書(案)について	承認
	第3号議案 令和7年度 資金調達及び設備投資の見込み(案)について	承認
	第4号議案 評議員会の招集について	承認
	報告1 令和6年度 理事長及び常務理事の職務の 執行状況について	

3 評議員会

開催日等	審議事項等	審議結果
第1回 (決議の省略の方法による) 決議があったとみなされた日 令和6年4月25日	第1号議案 理事の選任(案)について	承認
	第2号議案 監事の選任(案)について	承認
第2回 令和6年6月21日	第1号議案 評議員の選任(案)について	承認
	第2号議案 令和5年度 決算報告(案)について	承認
	報告1 令和5年度 事業報告について	
	報告2 決議の省略の方法による第42回評議員会の審議結果について	
第3回 (決議の省略の方法による) 決議があったとみなされた日 令和6年7月12日	第1号議案 理事の選任(案)について	承認
第4回 (決議の省略の方法による) 決議があったとみなされた日 令和7年3月21日	第1号議案 令和7年度 事業計画書(案)について	承認
	第2号議案 令和7年度 収支予算書(案)について	承認
	第3号議案 令和7年度 資金調達及び設備投資の見込み(案)について	承認

Ⅱ 事業に関する事項

1 調査・相談事業

(1) 相談・アドバイス・橋渡し・調査・発掘

ア コーディネーターやアドバイザー等による相談事業、橋渡し

コーディネーターやアドバイザーが中心となって、企業の様々な課題や相談に対応し、必要に応じて大学や公設試験研究機関等の研究者を紹介

また、企業等を訪問するなどして課題の調査・解決を図るとともに、優れた技術・製品等の発掘を行い、密着した支援を実施

○コーディネーター … 3人、アドバイザー … 3人

○企業訪問相談等 757件

1. 相談指導	383件	2. 技術調査	145件	3. 橋渡し	142件
4. 特許相談	5件	5. その他	82件		

○主な相談等

- ① 販路拡大支援より知名度・集客力・利益が向上し法人化（(株)KMG）
- ② 事業計画の整理による自社ブランディングから販路開拓（山陽機創(株)）
- ③ 現場環境の改善及び製造工程の技術支援（(株)テイケン）
- ④ 金属製やすりをベースとしたフットケア商品開発の伴走支援（(株)ワタオカ）
- ⑤ 新拠点立ち上げを検討する企業に呉地域企業の紹介・マッチング支援
- ⑥ 地域産品開発支援事業 商品発掘・申請サポート
採択者には商品開発から知的財産の支援、販路開拓、商談まで総合的に支援
（(株)中元本店、(有)上田瓦商店、宮原水産、(株)しお家、(有)鳥徳商店）
- ⑦ 医療・ヘルスケア関連の新商品開発、展示会出展及び販路拡大を支援
（(株)アップメディカル）
- ⑧ 電動アシスト車椅子開発に関する技術支援及び展示会出展のサポート
（佐藤技術サポート・KIT21）
- ⑨ 企画商品（土産品）の製造委託先マッチングを支援（ケイ・ウェーブ・ネット）
- ⑩ オリジナル商品の販路拡大及びコラボ惣菜の開発販売支援（(株)MORKS）
- ⑪ 洋菓子店の地域量販店への販路開拓を支援（ヴァンカトル）（シャンティ）
- ⑫ 「スーパーマーケット・トレードショー2025」での「呉市ブース」出展支援
- ⑬ 西部工業技術センターとの連携支援にて不具合の原因を解明「産学連携スタート補助金」（(株)サンワテクノス）
- ⑭ 呉地域 DX 推進にかかる連携協定の締結（呉信用金庫・呉商工会議所・呉広域商工会）

イ 研究開発アシスト

国、県、支援機関等が実施する各種助成制度を的確に把握し、企業やグループにあった助成制度の活用や、申請書類作成等に対するアドバイス等の各種支援

補助金等の名称	実施機関	企業名等	申請事業概要
R6 年度地域産品開発支援（補助）事業	呉市	(株)中元本店	補助金申請サポート・伴走支援
R6 年度地域産品開発支援（補助）事業	呉市	(有)上田瓦商店	補助金申請サポート・伴走支援
R6 年度地域産品開発支援（補助）事業	呉市	宮原水産	補助金申請サポート・伴走支援
R6 年度地域産品開発支援（補助）事業	呉市	(株)しお家	補助金申請サポート・伴走支援
R6 年度地域産品開発支援（補助）事業	呉市	(有)鳥徳商店	補助金申請サポート・伴走支援
事業再構築補助金／ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	経済産業省	(株)ドイ	補助金申請サポート・伴走支援

ウ 特許等に関する相談

(一社)広島県発明協会の協力を受け、特許等に関する相談に対応

○相談指導	9 件
○主な相談内容	1. 模倣品対策 2. 特許・商標・意匠登録の出願方法 3. 特許情報プラットフォームの活用方法 4. 知財戦略のアドバイス 等

エ 専門家派遣

中小企業等が抱える課題の解決を図るため、高度な専門的知識・経験を有する専門家を派遣

(ア) 派遣申請案件 4 件

派遣申請企業等	派遣専門家	内 容
山陽機創(株)	高木コンサルティング 高木 健一 氏	事業計画・商品展開の見直しから販路選択及び自社ブランド確立
(株)寺岡	(株)オキデザイン 沖 宣行 氏	所有土地活用し地域活性化するビジョンをデザイン化し、具体的プランの策定

(株)中元本店	中小企業診断士 栗山 琢次 氏	食品製造工場における生産性向上
(株)アップメディカル	イーシーバイウーズ(株) 蛇草 友里絵 氏	オンライン対応を強化し、販路拡大を目指すHPリニューアル

(2) セミナー・講演会開催

中小企業等の事業活動に役立てていただくようセミナーや講演会を開催

ア 主催事業

(ア) Bit's 呉人材育成塾ミギウデ塾・カクシン塾

○ミギウデ塾 (参加人数6名)

- ・受講資格：経営者又はそれに準ずる者からの被推薦者（50歳以下の方）
- ・人材育成像：

家業や自社事業を将来にわたって発展的に展開していく後継者や幹部人材（将来の右腕や番頭を担うべき）、広い教養と審美眼を持ち人間力を備えた人材

○カクシン塾 (参加人数6名)

- ・受講資格：企業内で新事業を始めたい方、起業家（50歳以下の方）
- ・人材育成像：

自社の事業開発を担う社内起業家、社会に変革を促す事業家など、ゼロをイチにする挑戦人材、意識変容（マインドセット）を促しながら革新を起こせる人材

●ミギウデ塾・カクシン塾共通

全プログラム終了後、総括及び今後のアクションプランを討議するため、「グループ演習」及び「ブラッシュアップ」を実施

また、プログラムの集大成となる「プレゼンテーション」を通じて、企業・団体とのパートナーシップ構築や事業推進を創出

開催	プログラム	講師	開催日
DAY01	イントロダクション	安川 幸男 くれ産業振興センターアドバイザー	6/12
DAY02	対話	安川 幸男 くれ産業振興センターアドバイザー	7/12
DAY03	価値創造リーダーシップ	原田 博一 氏 株式会社イミカ 代表取締役	8/1

DAY04	コミュニケーション	原田 博一 氏 株式会社イミカ 代表取締役	9/11
DAY05	(ミギウデ塾) 事業のツクリカタ	高岡 泰仁 氏 GOB Incubation Partners株式会社 取締役副社長 COO	10/9
	(カクシン塾) 事業モデル	安川 幸男 くれ産業振興センターアドバイザー	10/23
DAY06	資金調達の考え方基礎	日下 智晴 氏 日下企業経営相談所 代表	11/6
DAY07	(カクシン塾) 志ブランディング	虎上 亮平 氏 株式会社パラドックス ブランディング・ディレクター/ コピーライター	11/20
	(ミギウデ塾) テストマーケティング	安川 幸男 くれ産業振興センターアドバイザー	11/27
DAY08	グループ演習	安川 幸男・田中 耕三 くれ産業振興センターアドバイザー	12/11
DAY09	プレ発表	安川 幸男・田中 耕三 くれ産業振興センターアドバイザー	1/21
DAY10	最終プレゼンテーション	安川 幸男・田中 耕三 くれ産業振興センターアドバイザー	2/21

(イ) ものづくり講演会

呉自社商品開発協議会会員企業を中心とした域内事業者に対し、大学や公設試等と連携し、ものづくりや経営活動に役立てられる内容の講演会を開催

テーマ・講師等	参加者数	開催日
テーマ：変形型月面ロボット SORA-Q 成功の軌跡 講 師：同志社大学 教授 渡辺 公貴 氏 概要：2024 年 1 月、日本が独自に開発した世界最小、最軽量の月面探査ロボットが月に着陸し活動を開始した。本プロジェクトには JAXA（宇宙航空研究開発機構）、同志社大学、ソニーグループ、そしておもちゃメーカーのタカラトミーが参画した。本	87名	5/15

講演では、開発プロジェクトの一員であった渡辺教授に、世界初の「変形型月面ロボット」の開発にいたるまでのアイディアの見つけ方やその着眼点について紹介してもらった。		
--	--	--

(ウ) セミナー

テーマ・講師等	参加者数	開催日
令和6年度 脱炭素経営推進セミナー 第1部 - 呉市の支援策など紹介 呉市 産業部 商工振興課 新田 瑞穂 氏 - 小さく始める脱炭素経営 (公財)くれ産業振興センター 専門家 江種 浩文 第2部 講演 テーマ：脱炭素経営で実現する効率化とコスト削減 スピーカー： ベンダ工業株式会社 代表取締役社長 八代 一成 氏 ベンダエンジニアリング株式会社 シニアマネージャー 藤原 隆 氏	45名	8/28
くれ DX セミナー 製造関連 CAE の活用事例紹介 - DX 成功のための CAE 活用: CAE 人材育成・活用支援 ひろしまデジタルイノベーションセンター 技術統括部長 安藤 誠一 氏 - 広島県立総合技術研究所の DX の取り組み 広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー 次長 村河 亮利 氏 - 企業事例紹介 1: プレス金型成形解析活用までの物語 株式会社ヒロテックツーリング 渡辺 一司 氏 - 企業事例紹介 2: 県総研と連携し鑄造 CAE 始めました！ 株式会社生田合金鑄造所 代表取締役 生田 三南子 氏 広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 加工技術研究部 副部長 寺山 朗 氏 - 製造シミュレーション紹介: 溶接、鍛造、締結、せん断の CAE 活用事例 株式会社 JSOL エンジニアリング事業本部	38名	1/28

生産技術 CAE 部長 功刀 厚志 氏 ・交流会：個別相談コーナー、名刺交換、フリーディスカッション		
令和6年度 補助金活用セミナー 【講師】 中小企業庁経営支援部 技術・経営革新室 係長 竹中 知博 氏・宮崎 遼真 氏 【内容】 今回新設される補助金の概要や拡充される補助金について変更点などを説明する。 ・事業再構築補助金（最終公募） ・新事業進出補助金（事業再構築補助金の後継） ・成長加速化補助金 ・省力化投資補助金 など	42 名	3/5

イ 共催・後援事業

行事名	テーマ・講師等	種別	開催日
創業チャレンジ セミナー （主催：呉市）	テーマ： 「受注ゼロからの奇跡の大逆転 なぜ、おばちゃん 社長は価値ゼロの会社を100億円で売却できたの か」 講師：株式会社創研 代表取締役 西原 裕 氏 コーディネーター 福田 哲史 氏	後援	6/29・ 30 7/6
「呉市中小企 業・小規模企業 振興基本条例実 践シンポジウ ム」 （主催：呉市）	テーマ： 【第一部】採用手段の多様性と使い分け ～副業・プロボノ事例からの考察～ 【第二部】意見交換 講師： Dialogue for Everyone（株）大桃 綾子 氏 ファシリテーター：（公財）くれ産業振興センター アドバイザー 安川 幸男 氏	共催	10/5
令和6年度総務省 「テレワーク・ワ ンストップ・サポ ート事業」 （主催：呉信用金 庫）	テーマ： 「M&A オンラインセミナー 事業変革・成長のための M&A 戦略」 ～なぜクリーニング屋がパン屋を買収したのか～ 講師：小柴クリーニング福会長 小柴 繁美 氏 モデレーター：（公財）くれ産業振興センター ア	共催	12/4

	ドバイザー 安川 幸男 氏		
--	---------------	--	--

(3) 技術伝承支援事業

見よう見まねで習得していた難解・複雑な熟練技術者の技を、動画・アニメーションといった映像を中心とした手法でマニュアル化・デジタル化する費用の一部を補助することで、技術の伝承を支援

また、高度な技術を有する外部専門家が企業を訪問し、若手社員などの技術を養成する費用を補助することによって技術伝承を支援

令和7年3月31日時点、休止中

2 新事業・新製品開発支援事業

(1) 産学連携スタート補助事業

新技術・新製品・新サービス等の開発や技術力・生産性等の向上のため、大学や試験研究機関等との共同研究を開始するために要する経費を補助

ア 産学連携スタート補助金 … 採択4件

企業名	連携機関	内 容
(株)シーテック ヒロシマ	函館高等専門学校	アマモの種を活着させるポリマー 素材の開発事業
(株)TEGO	広島大学	竹粉碎資材(竹チップ)および廃棄 牡蠣殻粉碎資材(殻チップ)の分析 と植物・微生物群集への影響評価
盛川酒造(株)	呉工業高等専門学校	還元処理した植物抽出物を含む酒 類入浴剤の開発
(株)サンワテクノス	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター	圧力容器装置の温度測定

イ 脱炭素技術等事業化可能性調査補助金 … 採択2件

企業名	連携機関	内 容
(株)寺岡	広島大学	低価格グリーン水素の地産地消モデル 構築に向けた可能性調査
久米産業(株)	呉工業高等専門学校	食品廃棄物処理時に発生する臭気の 低減と廃棄物を利用する再生エネル ギー発電の両立に向けた事業化可能 性調査

3 創業・販路拡大・異業種交流支援事業

(1) 呉市インキュベーション施設入居者支援事業

「呉サポート・コア」、「呉ジャンプ・コア」の入居企業や個人に対し、技術相談や経営相談など、総合的な支援の実施

○インキュベーション施設入居者募集等案内

- ①当センターホームページでの広報
- ②呉市のホームページに掲載
- ③支援機関(金融機関含む)等へのパンフレット配布
- ④平日時間外及び休日の相談受付実施のPR 等

(2) 呉市インキュベーション施設指定管理者受託

○指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
○内 容	2施設の維持管理、使用許可及び付随する業務
○入居状況	呉サポート・コア(全10室) 6者7室利用 呉ジャンプ・コア(全 5室) 5者5室利用

(3) 呉自社商品開発協議会支援事業

企業による共同開発や自社商品開発を推進し、会員企業の活性化と発展を図るとともに、地域社会への貢献を目的に設立された「呉自社商品開発協議会」(83会員、大賀 敏昭会長)の事務局として、会の運営を支援

○総会、役員会の運営支援
○全体会事業 (先進地視察、セミナー、「みんなの夢・アイデアコンテスト」等の運営支援)
○異業種3部会へのオブザーバー支援
・第1次産業部 1次産業現場視察 企画・実施
・第2次産業部 定例部会、新規事業グループ活動
・第3次産業部 販路開拓等セミナー 企画・実施

(4) くれ企業ビジネスサポートデータベース運営事業

地域企業の新製品・新技術について、インターネットを通じて全国に配信し、掲載企業のPRと販路の開拓を支援

特に、企業の持つ製品・技術を域内外企業向けに発信するため、企業情報を「J-GoodTech」(独立行政法人中小企業基盤整備機構)に集約・掲載することで、ニーズとのマッチングを促進

○掲載企業数	215企業
--------	-------

4 情報発信・情報化促進事業

(1) ものづくり技術情報発信事業

当センターホームページ上で地域の中小企業が保有する、ものづくりの技術、製品等の特長をコミック形式で紹介することにより、専門用語や複雑な技術をわかりやすく情報を発信

コミック製作対象企業 … 株式会社 三宅本店 ※現在まで27社選定

(2) オールクレ・クレコレバイヤーズ商談会事業

呉広域商工会が主催者となり、呉市及び当センター含む3つの市内支援団体が共催して、呉市内の小規模事業者等の商品開発・販路開拓を支援するため、商談会（会場・オンライン）及び事前セミナーを実施

事前セミナー …… 2024年 9月13日（金）

ブラッシュアップ相談会：2024年11月 8日（金）

商談会 …… 2025年 1月15日（水）

(3) くれ産業振興センター情報発信事業

ア パンフレット作成

「センター事業紹介」「人材育成塾事業」のパンフレットを作成し、各連携先及び支援団体等に配布。受講生募集と共に、センターの取り組みを幅広く広報

○人材育成塾	1,500部
○センター事業紹介	2,000部

イ FAX・メール直送便

当センターや他機関の事業案内、イベント情報、施策情報など、企業活動に役立つ情報を登録会員に対して、FAX、電子メールで発信

○FAX直送便	164会員、配信19回、33頁
○メール直送便	169会員、配信38回、89頁

ウ ホームページ等管理運営

当センターの事業案内や各種支援制度等について情報をHPやFacebook、Instagramを活用して提供

Ⅲ 事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。